

平成26年7月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年6月3日

上場会社名 ゼネラルパッカー株式会社  
 コード番号 6267 URL <http://www.general-packer.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 梅森 輝信  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 小関 幸太郎  
 四半期報告書提出予定日 平成26年6月13日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東名

TEL 0568-23-3111

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年7月期第3四半期の業績(平成25年8月1日～平成26年4月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年7月期第3四半期	3,385	7.4	165	—	168	475.9	116	433.2
25年7月期第3四半期	3,152	23.4	12	—	29	—	21	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年7月期第3四半期	13.14	—
25年7月期第3四半期	2.47	2.47

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年7月期第3四半期	5,158	—	2,922	—	—	56.6
25年7月期	4,661	—	2,866	—	—	61.5

(参考)自己資本 26年7月期第3四半期 2,922百万円 25年7月期 2,866百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年7月期	—	3.50	—	3.50	7.00
26年7月期	—	3.50	—	—	—
26年7月期(予想)	—	—	—	3.50	7.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年7月期の業績予想(平成25年8月1日～平成26年7月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,400	△2.5	195	65.5	200	47.3	120	30.8	13.50

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年7月期3Q	8,994,000 株	25年7月期	8,994,000 株
26年7月期3Q	106,218 株	25年7月期	106,123 株
26年7月期3Q	8,887,817 株	25年7月期3Q	8,871,154 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
（1）経営成績に関する説明	2
（2）財政状態に関する説明	3
（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表	4
（1）四半期貸借対照表	4
（2）四半期損益計算書	6
（3）四半期財務諸表に関する注記事項	7
（継続企業の前提に関する注記）	7
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	7
（セグメント情報等）	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の経済・金融政策の効果による円安や株価上昇が進み、輸出環境の改善や個人消費の回復により企業収益に持ち直しの動きが見られるなど、景気は回復基調で推移いたしました。

このような状況のなか、当社は新機種の拡販、新たなマーケットの開拓、海外販売体制の強化に取り組んでまいりました。

当第3四半期累計期間における売上高につきましては、大型包装ラインの販売実績が大きく寄与したことから、前年同期に対し233百万円増収の3,385百万円(前年同期比7.4%増)となりました。

利益面につきましては、増収に伴う売上総利益の増加に加え、販売費及び一般管理費を前年同期より抑制した結果、営業利益は165百万円(前年同期比1,181.3%増)、経常利益は168百万円(前年同期比475.9%増)、四半期純利益は116百万円(前年同期比433.2%増)と前年同期と比べ大幅な増益となりました。

当社は、自動包装機械製造事業の単一セグメントであります。単一セグメントを品目別に分類した場合における品目別売上高の概況は次のとおりであります。

給袋自動包装機は、販売台数が減少したことから、売上高は1,203百万円(前年同期比36.5%減)となりました。

製袋自動包装機は、販売台数が増加したことから、売上高は423百万円(前年同期比154.8%増)となりました。

包装関連機器等は、大型包装ラインの販売実績が増加したことから、売上高は1,065百万円(前年同期比186.7%増)となりました。

保守消耗部品その他につきましては、保守案件の実績が減少したことから、売上高は693百万円(前年同期比3.8%減)となりました。

なお、当社の各四半期の売上高は、受注案件の売上計上時期の偏りと高額案件の有無等により、大きく変動する傾向にあります。一方、販売費及び一般管理費は比較的変動が少ないことから、利益につきましても、売上高に大きく影響されることとなり、各四半期の業績は大きく変動する傾向があります。

## （2）財政状態に関する説明

## （資産）

当第3四半期会計期間末における流動資産の残高は4,233百万円となり、前事業年度末に比べて475百万円増加いたしました。この主たる要因は、売上債権及びファクタリング方式により譲渡した売上債権の未収額の合計額が166百万円増加したこと、現金及び預金が137百万円増加したこと等によります。

固定資産につきましては、当第3四半期会計期間末残高は925百万円となり、前事業年度末に比べて21百万円増加いたしました。この主たる要因は、無形固定資産が27百万円増加したこと等によります。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べ497百万円増加し、5,158百万円となりました。

## （負債）

当第3四半期会計期間末における流動負債の残高は2,138百万円となり、前事業年度末に比べて435百万円増加いたしました。この主たる要因は、前受金が265百万円増加したこと、仕入債務が185百万円増加したこと等によります。

固定負債につきましては、当第3四半期会計期間末残高は97百万円となり、前事業年度末に比べて5百万円増加いたしました。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べ441百万円増加し、2,236百万円となりました。

## （純資産）

当第3四半期会計期間末における純資産の残高につきましては、利益剰余金の増加等により、前事業年度末に比べ55百万円増加し、2,922百万円となりました。

## （3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、顧客企業の設備投資需要が不透明な状況となっている中、国内外での競争は厳しさを増してきており、受注環境は引き続き厳しい状況となることが予想されます。

このような状況の中で、当社におきましては、新機種の拡販、新たなマーケットの開拓、海外販売体制の強化などに取り組み、売上高の確保を目指してまいります。

業績の見通しにつきましては、当第3四半期累計期間までは計画をやや上回って推移しており、通期の売上高につきましても計画数値は達成できるものと現状は見込んでおります。

以上により、平成26年7月期の通期の業績予想につきましては、平成26年3月4日発表「平成26年7月期第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）」の業績予想値と変更はありません。

2. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年7月31日)	当第3四半期会計期間 (平成26年4月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,911,323	2,048,793
受取手形及び売掛金	992,459	1,099,564
仕掛品	378,706	405,090
原材料及び貯蔵品	295,024	329,295
未収入金	107,539	176,189
その他	72,840	174,093
貸倒引当金	△7	△8
流動資産合計	3,757,888	4,233,018
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	498,032	486,653
土地	298,125	298,125
その他（純額）	11,376	15,518
有形固定資産合計	807,534	800,297
無形固定資産	7,597	35,569
投資その他の資産	88,311	89,489
固定資産合計	903,443	925,356
資産合計	4,661,332	5,158,374
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,260,727	1,446,460
未払法人税等	57,385	28,882
賞与引当金	—	43,363
役員賞与引当金	7,900	—
製品保証引当金	19,354	10,927
その他	357,324	608,724
流動負債合計	1,702,692	2,138,357
固定負債		
退職給付引当金	37,891	43,316
役員退職慰労引当金	54,300	54,550
固定負債合計	92,191	97,866
負債合計	1,794,884	2,236,224

(単位:千円)

	前事業年度 (平成25年7月31日)	当第3四半期会計期間 (平成26年4月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	251,577	251,577
資本剰余金	282,269	282,269
利益剰余金	2,344,378	2,398,971
自己株式	△19,825	△19,848
株主資本合計	2,858,398	2,912,968
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	8,049	9,181
評価・換算差額等合計	8,049	9,181
純資産合計	2,866,448	2,922,150
負債純資産合計	4,661,332	5,158,374

(2) 四半期損益計算書  
第3四半期累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成24年8月1日 至平成25年4月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成25年8月1日 至平成26年4月30日)
売上高	3,152,338	3,385,978
売上原価	2,416,554	2,518,929
売上総利益	735,783	867,049
販売費及び一般管理費	722,839	701,200
営業利益	12,944	165,848
営業外収益		
受取利息	478	214
受取配当金	115	126
為替差益	12,723	1,814
その他	4,843	2,918
営業外収益合計	18,160	5,073
営業外費用		
支払利息	1,637	1,647
その他	123	289
営業外費用合計	1,761	1,937
経常利益	29,343	168,984
特別利益		
固定資産売却益	—	190
特別利益合計	—	190
特別損失		
固定資産除却損	64	285
特別損失合計	64	285
税引前四半期純利益	29,278	168,890
法人税、住民税及び事業税	29,348	55,768
法人税等調整額	△21,975	△3,686
法人税等合計	7,372	52,082
四半期純利益	21,905	116,807

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

当社は、自動包装機械製造事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。